

めあて 表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読もう。

一 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

「ではみなさんは、そういうふうには川だと言われたり、乳の流れたあとだと言われたりしていたこのぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知ですか。」先生は、黒板に吊した大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけぶった銀河帯のようなどころを指しながら、みんなに問いをかけた。カムパネルラが手をあげました。それから四、五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようとして、急いでそのままやめました。たしかにあれがみんな星だと、いつか雑誌で読んだのでしたが、このごろはジョバンニはまるで毎日教室でもねむく、本を読むひまも読む本もないので、なんだかどんなこともよくわからないという気持ちです。ところが先生は早くもそれを見付けたのでした。ところが先生は早くもそれを見付けたのでした。

「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょうか。」

ジョバンニは勢いよく立ちあがり立席から降りたが、立ってみるともうはつきりとそれを答えることができないのでした。ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすくすわらいました。ジョバンニはもうどぎまぎして真っ赤になってしまいました。先生がまた言いました。「大きな望遠鏡で銀河をよっく調べると銀河は大体何でしょう。」

「やっぱり星だとジョバンニは思いましたが、こんどもすぐに答えることができませんでした。」

先生はしばらく困ったようすでしたが、眼をカムパネルラの方へ向けて、「ではカムパネルラさん。」と名指しました。するとあんなに元気に手をあげたカムパネルラが、やはりもじもじ立ち上がったままやはり答えができませんでした。

先生は意外なようにしばらくじっとカムパネルラを見ていましたが、急いで「では。よし。」と言いながら、自分で星図を指しました。

「このぼんやりと白い銀河を大きないい望遠鏡で見ますと、もうたくさんの小さな星に見えるのです。ジョバンニさんそうでしょう。」

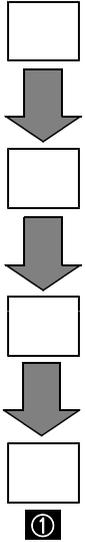
ジョバンニは真っ赤になってうなずきました。けれどもいつかジョバンニの眼のなかには涙がいつぱいになりました。そうだ僕は知っていたのだ、勿論カムパネルラも知っている、それはいつかカムパネルラのお父さんの博士のうちでカムパネルラといっしょに読んだ雑誌のなかにあったのだ。それどころでなくカムパネルラは、その雑誌を読むと、すぐお父さんの書齋から巨きな本をもってきて、ぎんがというところをひろげ、真っ黒なページいっぱいに白い点々のある美しい写真を二人でいつまでも見たのでした。それをカムパネルラが忘れるはずもなかったのに、すぐに返事をしなかったのは、このごろぼくが、朝にも午后にも仕事がつらく、学校に出てももうみんなとはきはき遊ばず、カムパネルラともあんまりものを言わないようになったので、カムパネルラがそれを知って気の毒がってわざと返事をしなかったのだ、そう考えるとたまらないほど、じぶんもカムパネルラもあわれなような気がするのです。

(注一) けぶったは煙った。ぼうつとかすんで見える。
(注二) それどころでなくはそれどころではなく。

「銀河鉄道の夜」宮沢賢治 より

1 次のA～Dまでを、文章の展開に沿って順番に並べ替えるとどのようなようになりますか。A～Dを適切に並べ替えて書きなさい。

- A 先生が星図を指しながら自分で答えを述べた。
- B 先生が黒板に吊した星座の図の「ぼんやりと白いもの」を指して何かと尋ねた。
- C 先生がカムパネルラを指名したが、カムパネルラは答えられなかった。
- D 先生がジョバンニを指名したが、ジョバンニは答えられなかった。



2 線①とありますが、この理由と考えられるこのごろのジョバンニの生活の様子を本文中から十三字で探し、抜き出しなさい。
